

内容は次のとおりです。

|| 共通課題 —— 農村自治の課題の展開として ——

- 一、明治・大正期の農村計画構想 佐々木 豊
- 二、昭和初期農村経済更生運動と農村計画 森 芳三
- 三、米の生産調整と農民の対応 武田 共治
- 四、農村計画における合意と集落 工藤 清光
- 五、一九八一年度研究会報告と大会討議の要点 岩本 由輝・高橋 正郎・岩崎 信彦

|| 自由課題 ||

- 一、日露戦後の「町村自治」振興策と国民教化 不破 和彦
- 二、「大正デモクラシー」期における農民経営の歴史的性格 東 敏雄

三、集団栽培後の生産組織と農民層の対応形態

—— 鶴岡市京田地区林崎部落の事例 ——

横山 敏・小林 一穂

|| 研究動向 ||

- 史学・経済史学における村落研究動向 嶋田 隆
- 経済学における研究動向 中島 常雄
- 社会学における農村研究の動向 木下 謙治
- 社会人類学における村落社会研究の動向 上野 和男

### △事務局からのお願い▽

一、会費納入について

会費納入の状況と請求を「研究通信」に同封いたしましたので、滞納されている会員は、是非納入下さるようお願いいたします。

なお、会費は一九八二年度までは、年三〇〇〇円、一九八三年度は年四〇〇〇円です。承知下さい。

二、『村落社会研究』第十八集を未購入の方は、是非ともお買い求め下さるようお願い致します。会員は二割引になります。(定価四二〇〇円)

三、「研究通信」残部の頒布について

これまでの「研究通信」の残部がいくらかありますので、希望者は、号数を指定のうえ、事務局までご請求下さい。なお頒価は送料込みで、一部二〇〇円（薄部の冊子）、三〇〇円（厚部の冊子）です。